

平成30年度

「利島村教育委員会の教育に関する事務の管理及び執行の
状況の点検及び評価」に係わる報告書

- 報告書の趣旨説明
- 「利島村教育委員会の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」
- 教育に関する学識経験者の意見

平成31年3月31日
利島村教育委員会

平成30年度

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価

利島村教育委員会

1 趣 旨

- ・ 利島村教育委員会は、毎年、主要な施策や事務事業の取組状況について、点検及び評価を行い、課題や方向性を明らかにすることにより、効果的な教育行政の一層の推進を図る。
- ・ また、点検及び評価の結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することにより、村民への説明責任を果たし、村民に開かれた教育行政を推進する。

※ 参考（根拠法令）

- ・ 「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十七条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

- 2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 実 施 方 法

- （1）毎年度策定する「利島村教育委員会教育目標」を対象とし、点検及び評価を行う。
- （2）点検及び評価は、前年度の施策・事業の進捗状況を総括するとともに、課題や今後の取組の方向性を示すものとし、毎年一回実施する。
- （3）施策・事業の進捗状況等を取りまとめ、学識経験者の意見を聴取した上で、教育委員会において点検及び評価を行う。
- （4）教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、「点検・評価に関する有識者」を置く。
 - ① 「点検・評価に関する有識者」は、教育に関し学識経験を有する者の中から教育委員会が委嘱する。
 - ② 「点検・評価に関する有識者」の任期は3年とする。（任期の延長・短縮は妨げない。）
- （5）教育委員会において、点検及び評価を行った後、その結果をとりまとめた報告書を利島村議会へ提出する。また、報告書は公表するものとする。

平成30年度

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の実施

利島村教育委員会

※ 評価基準

達成率	100%~75%	74%~50%	49%~25%	24%~0%
評語	A	B	C	D

1 教育委員会の活動

(1) 教育委員会の会議の運営

評価	評価根拠
B	・定例教育委員会、及び総合教育会議において、利島の教育について活発に議論を交わした。

(2) 教育委員会の会議公開

評価	評価根拠
B	・教育委員会毎月の定例会は常に公開としている。

(3) 教育委員会と村長との連携

評価	評価根拠
A	・教育施策については常に確認を行い、連携を図った。文化財保護について、特に利島村伝統文化芸能行事（ふるさと利島に思いを寄せる日）に関して、意見交換を頻繁に行い、実施した。

(4) 教育委員の学校支援（学校訪問、学校施設点検）

評価	評価根拠
B	・行事等において不定期ではあるが教育委員は学校を訪れた。また、教育委員の学校視察を行い、学校長とも意見交換を行った。さらには総合教育会議の際には学校長も出席し、学校教育の理解を深めた。

2 教育委員会が管理・執行する事務

(1) 教育行政の運営に関する基本方針を定めること

評価	評価根拠
A	・地方教育行政の組織及び運営に関する法律に規定されている教育の機会均等、教育水準の維持向上及び地域の実情に応じた教育の振興は図られている。一昨年度＜地方教育行政の組織及び運営に関する法律＞の一部改正に基づき、『利島村教育大綱』を策定した。教育大綱、教育委員会目標に則り、基本方針を検討した。

(2) 教育委員会規則・規程の制定・改廃すること

評 価	評価根拠
B	・過去の教育委員会規則・規定の見直しは、必要に応じて行っている。

(3) 教育予算等の議会の議決を経る議案の原案を決定すること

評 価	評価根拠
B	・31年度予算については、利島の教育の充実発展に資するべく、原案を作成した。 ・防災の観点からも、今後、学校体育館等の施設のバリアフリー化を計画的に進めたいと考えている。また文化財保存に向け、東京都指定の遺跡の整備に努めるべく予算要望を行った。

(4) 利島村奨学金制度の事務に関すること

評 価	評価根拠
A	・奨学資金貸付事務は滞りなく行っている。「広報としま」でも村民に周知している。

(5) 離島高校生就学支援事業の事務に関すること

評 価	評価根拠
A	・平成24年度に立ち上げた制度である。中学卒業時に保護者に対して広報している。利島出身の高校生は全員利用している。要綱の一部改正し、補助金の支給期間を3年から在学期間中とした。「広報としま」でも村民に周知している。

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

(1) 利島村大綱、及び教育委員会教育目標の制定・改廃

評 価	評価根拠
A	・一昨年度策定した教育大綱に則り、利島村教育委員会教育目標は学校の児童・生徒のみならず、島民全体の人としてあるべき姿を想定して制定している。教育目標を中期、長期目標ととらえ、今年度の施策を具体的に表示している。

(2) 人権尊重教育の推進

評 価	評価根拠
A	<ul style="list-style-type: none">・児童・生徒が人権の花の栽培を行っている。・毎年、人権作文に応募している。・利島中学校が今年度、東京都道徳教育推進拠点校として、人権教育及び道徳教育を推進した。・道徳授業公開講座では、学校と教育委員会共催で講師を招聘した。

(3) 社会性を育む教育の推進

評 価	評価根拠
A	<ul style="list-style-type: none">・児童生徒が社会性を育む行事（島外学習、中学生海外ホームステイ事業、その他、社会教育分野の活動等）に対して経費の100パーセント補助金を交付している。・檜原村と友好村の盟約を結び、今後共交流を深めていく。・昨年続き、利尻島の子どもたちと交流をした。今年度は、利島からも利尻島に行き、交流を深めた。社会性を育む上で意義のある事業と考える。・外部からの講師を招き、メディアづくり教育に取り組み、成果を上げた。

(4) 児童・生徒の他地区との交流

評 価	評価根拠
B	<ul style="list-style-type: none">・多摩・島しょ広域連携活動助成事業（利島サマースクール）（ジュニアスキー教室）を夏期、冬季に行い、利島村と檜原村の小中学生が交流を行った。今後、保護者に十分な理解を求め、さらに多くの児童・生徒の参加を促していく。また、今年度で2回目となる中学生海外ホームステイ事業を実施し、海外の子供とも交流をした。参加中学生にとって、大変有意義な体験となった。・利島の子どもたちが、利尻島において現地の子どもたちと交流する、新たな機会を設定した。

4 学校教育

(1) 人権尊重教育の推進

評 価	評価根拠
A 85	<ul style="list-style-type: none">・いじめ、差別に関する取組（生活アンケート、SCによる全児童・生徒の個別面談等）の実施と、日常生活における他人との関わり方（挨拶、礼儀等）を重点とする指導を行った。・人権月間活動として、人権に関する図書を紹介し人権作文や標語づくりに取り組ませた。

(2) 個に応じた学習指導

評価	評価根拠
A 95	<ul style="list-style-type: none">・資格検定の取得に向けて、全校体制で放課後学習教室や家庭との連携に基づく学習支援活動の実施、中学校における定期考査対策として個別学力補充活動を実施した。・TT 授業での授業中の個別指導を行うことができた。・長期休業中、及び学期中の放課後に全教員で補習を実施した。

(3) 自尊・他尊感情を育て、豊かな心をはぐくむ道德教育

評価	評価根拠
A 80	<ul style="list-style-type: none">・「特別な教科 道德」を中心に教育活動全般を通して、児童・生徒一人一人の自己肯定感や自尊感情を高める道德教育の充実に努めた。・行事や諸活動を通して異学年と意見交換や支援・協力すること（時にはトラブルの経験）から、他尊感情を理解し互いを認め合うことの大切さを学んだ。

(4) 健康の保持・体力の増進を図る教育活動

評価	評価根拠
A 90	<ul style="list-style-type: none">・月 1 回、授業や広報（保健だより、給食だより）を通して保健指導や食育指導を行うことで、健康や食の大切さについて児童・生徒の理解を深められた。・体育授業や体育的行事を通して体力向上に取り組んだ結果、東京都統一体力テストにおいて、昨年度より数値が大幅に上がった。

(5) 小中一貫教育の継続

評価	評価根拠
A 90	<ul style="list-style-type: none">・小中教員の協働による学習指導が定着化し、一層の充実がみられた。・九年間の学習指導計画の作成に向けて、月 1 回の年間指導計画作業日を設定し、一部教科において小中教員による教科部会を実施できた。

(6) 生活指導の充実

評価	評価根拠
A 90	<ul style="list-style-type: none">・生活指導部を中心として、問題が発生する前に日頃の生活での乱れに気を付けて、問題行動等の防止対策（注意喚起・事前指導）を行っている。・職員会議（月 1 回）での児童生徒情報交換を通して、定期的に児童生徒の生活指導上の問題について情報共有している。・生活指導上の問題が発生した際は、事実確認に基づいて管理職及び生徒指導部が指導・対応を検討し、関係教員や SC と連携して本人及び家庭と対応している。

(7) キャリア教育の推進

評 価	評価根拠
A 75	・島外学習での工場見学や職場訪問、島内での職業体験を通して、児童生徒の職業観・勤労観の醸成を図ると共に、キャリア教育の4能力（人間関係形成・情報活用・将来設計・意思決定）の発達段階的向上に努めた。

(8) 故郷教育の推進

評 価	評価根拠
A 90	・故郷教育三カ年計画に基づき、1年目の今年度は「利島のむかし」をテーマとし、発達段階に応じて「知る・体験する学習」を実施した。 〔低学年〕利島の昔遊びや昔の生活について 〔中・高学年〕昔の道具や人々の暮らしの知恵・願いについて（シデ雨水集水・飯盒炊さん） 〔中学校〕歴史（遺跡）について

(9) 家庭・地域に開かれた学校

評 価	評価根拠
A 95	・運動会、文化祭、ロードレース、展覧会等に、保護者や地域の方々が参加いただき、広く連携が深められた。 ・年3回の学校公開週間、年5回の学校公開日を設定し、教育活動を参観できる機会を提供した。 ・小学低学年が社協訪問を行った。 ・学校ホームページの公開、通信（学校便り、学年通信、他）の家庭・地域への配布を通して、教育活動をより具体的に知ってもらうようにした。 ・年3回の学校運営協議会で学校状況について情報共有する一方で、地域代表として協議員から学校への地域の声を聞き、学校運営に生かした。

(10) 学校組織を生かした学校経営

評 価	評価根拠
A 90	・毎朝の管理職打ち合わせ、週1回の管理職会議において、管理職間の報・連・相が十分に行えた。これにより副校長の経営パートナーとしての役割・責任への自覚が高まり、校務の処理・対応が円滑に行えた。 ・企画運営委員会において、小中分掌主任に経営方針に基づいた業務遂行の徹底を図ることで、自ら率先しつつ他教員への指示・調整を行うことで、円滑に運営が進められた。 ・教員一人一人の能力を生かせる業務に取り組みせ、実績（成果）を挙げることで

	<p>自信と意欲が高まり、組織貢献力が育成できた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分掌間の配置転換により、慣れない業務に戸惑う様子も見られたが、その都度、担当者に指導・助言をした。
--	--

(11) 教員としての資質・能力向上のための研修活動

評 価	評価根拠
A 80	<ul style="list-style-type: none"> ・島しょ研修、実践事例研修、そして校内研究会を通して、新学習指導要領における新しい教育（アクティブ・ラーニング、道徳の教科化、カリキュラム・マネジメントなど）を積極的に学ぶことで、教員としての資質向上が図られた。 ・自己申告時に他教員向けの校内公開授業を年間 3 回実施し、異校種・他教科の授業から指導方法の工夫・改善について学ぶ機会とした。

(12) 学力向上を図るための方策と成果

評 価	評価根拠
A 90	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科で「授業改善プラン」を作成し、児童・生徒の実態に応じた指導の徹底を図った。 ・基礎学力定着を図る取組（東京ベーシックドリル・副教材等の活用）に基づいて、基礎知識や技能の反復学習を取り入れることで、概ね定着が図れた。 ・（2）に同じ ・上記の方策によって、国及び東京都の学力調査において、高いレベルの学力評価となっている。

(13) 外国語指導、英語指導の取り組みとその成果

評 価	評価根拠
A 85	<ul style="list-style-type: none"> ・ALT を有効活用するため、小低学年では月 1 回の英語活動、小中学年では年間 15 時間の英語活動、小高学年では年間 50 時間の英語の指導を実施した。また、小学生対象に、週 1 回、EGT（English Game Time）を年 2 回、Halloween Party 等の英語活動を実施した。これにより、小学生の英語・英会話への興味関心が高まるとともに、知識・技能においても身につけてきている。 ・中学校において、全学年毎時間 ALT による指導時間を確保し、ネイティブ英語の聞き取り、英会話での口語表現、英作文等を計画的・重点的な学習として行っており、英語力・英会話力が高まっている。

5 社会教育

(1) 芸術文化事業の実施

評 価	評価根拠
A	・東京都島しょ芸術文化推進事業として、東京都交響楽団員による弦楽四重奏の演奏会を行った。また、プロの歌手グループ・カズンを招き、学校コンサートを行った。さらには学校と共催で落語、紙切り等の学校寄席を行った。次年度も東京都、及び学校と連携し、利島村における芸術文化の振興を図っていききたい。

(2) 家庭への教育支援推進事業

評 価	評価根拠
A	・教育費の無償化を図っている。 ・就学援助・利島村奨学金貸付・離島高校生就学支援事業の執行等、学校保護者負担の軽減に努めている。

(3) 文化財保護の充実

評 価	評価根拠
B	・文化財保護審議会答申を踏まえ、利島村伝統文化芸能事業を行い、失われつつある利島の伝統文化の継承に努めた。また、今後とも東京都指定の史跡、文化財の整備を進める。

(4) 地域教育力の活性化

評 価	評価根拠
A	・「昔の利島」というテーマのふるさと学習に対して、教育委員会として、郷土資料館の展示品や利島の昔の生活について子どもたちに説明した。また大石山遺跡、ケッケイ山遺跡における実地学習の支援をした。また、村を挙げての防災訓練、大島警察署の指導の下で交通安全教室等を実施した。 ・放課後子供教室において、子どもたちの居場所作りの一環として、教育課程外の指導を支援している。指導に当たっている団体、また個人に対して教育委員会として補助金を出し支援した。 ・村民の活動を応援すべく各同好会へ活動補助金を出している。また、今後とも教育委員会だより等を活用し、それぞれの活動の活性化を図っていききたい。

(5) 子供虐待の防止に関する活動の推進

評 価	評価根拠
A	・村全体で子供の面倒を見るという慣習は利島の良さであり、村民の理解、協力を得て続けていきたい。子供への虐待はないものと認識している。

6 放課後児童クラブ（学童）について

(1) 放課後児童クラブの運営

評 価	評価根拠
A	・一年を通して円滑に運営できた。 ・学習（宿題）指導が定着し、児童が意欲的に取り組んでいる。 ・指導員の連携がよくとれており、特段混乱もなく順調に運営できた。 ・保護者との連携にも努めている。

(2) 通所児童の状況

評 価	評価根拠
A	・主に小学校低学年児童が参加している。 ・学習と遊びのメリハリをつけ、楽しく活動している。

7 その他

(1) 施設・設備

評 価	評価根拠
B	・昨年整備したテニスコートの活用に努めた。今後、照明器具の破損等電気関係の修繕、整備を進めていかなければならない。 ・郷土資料館、遺跡等の整備を東京都とも協議し、今後一層進めていく。

「平成 30 年度利島村教育委員会 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」に対する意見

帝京大学文学部心理学科

助教 新谷 和代

利島村教育委員会が策定した全 34 項目の教育目標に対する自己評価は、A 評価が 26 項目、B 評価が 8 項目、C 評価が 0 項目という結果でした。昨年度に引き続き C 評価がなく、また A 評価の数が昨年度から 4 つ増え、B 評価が 5 つ減ったことは、平成 30 年度の教育委員会の施策・事業は、とても成果のあるものであったと判断されます。

以下、主な項目の自己評価およびその評価根拠について、簡単にコメントを述べさせていただきます。

1. 教育委員会の活動

昨年度は全項目が B 評価でしたが、今年度は (3) が A 評価となり、活動が着実に行われ、成果が出始めていると感じました。更なる活動を期待します。

- ・(1)(2)教育委員会の会議の運営については、利島の教育について活発に議論を交わすことができたということです。今後、更なる充実を期待します。
- ・(3)教育委員会と村長の連携については、利島村伝統文化芸能行事について活発に意見交換が行われた結果、今年度に「ふるさと利島に思いを寄せる日」という行事が開催される運びとなったことは、素晴らしいことだと思います。実施後は、更に意見交換が進められ、更に強い連携が結ばれていくことを期待します。
- ・(4)教育委員の学校訪問と意見交換については、昨年度に続き、教育委員が不定期ながら行事等で学校を訪れ、学校長と意見交換をされており、よい活動ができていると思います。また学校長の方からも、総合教育会議に出席されています。このように相互の行事や会議に出席しあい、交流があることは、今後の活動の更なる充実につながるのだと思います。引き続き、よろしく願います。

2. 教育委員会が管理・執行する事務

- ・(1)教育行政の運営に関する基本方針を定めることについては、教育水準の維持向上及び地域の実情に応じた教育の進行が図られており、大変素晴らしいことだと思います。今後も教育行政が滞りなく、充実して行われることを期待します。
- ・(3)教育予算等の議会の議決を経る議案の原案を決定することに関しては、学校体育館等の施設のバリアフリー化のための予算原案を作成されたとのことですが、近年は、大規模災害が繰り返しており、そのような緊急時には、学校は重要な避難施設となります。早急に、設備を整えていただきたいと思います。また、東京都指定の遺跡の整備についての予算要望につきましても、引き続きお進めいただきたく、願います。

- ・(5)離島高校生就学支援事業の事務に関することについては、利島出身の高校生全員が、支援金を利用されていることは、大いに結構なことだと思います。補助金の支給期間の変更については、在学期間中に限定するという実情に即したものであり、これでよいと思います。今後は、利島村出身の高校生たちが、充実した高校生活を送り、無事卒業していくことができるよう、在学期間中の交流など、様々な面からのサポートも必要かと思えます。

3. 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

- ・(2)人権尊重教育の推進については、利島村小中学校は一昨年度と昨年度に続き、東京都道德教育推進拠点校として人権教育及び道德教育普及を推進され、特に道德授業公開講座では、「育てよう！国や郷土を愛する心～我が国の伝統文化の理解～」というテーマのもとに、落語家一座の方々をお呼びして、地域の方々と一緒に、ワークショップの形で落語、紙切り、三味線、太鼓の実演に触れることができたということです。このように、様々な伝統芸能に触れることは、まさに我が国や郷土の伝統文化への理解を推進するものであり、ひいては利島の伝統文化を大切に作る心にも結び付くと思えます。このように、子どもたちが体験を伴った実りある学習ができるよう、来年度も引き続き取り組みをお願いします。また、今年度はオオミズナギドリ生態についての調査が行われたとのことですが、生息数の割には、子どもたちにはあまりなじみがない鳥のようであること、また野良猫による被害も懸念されていることから、この身近な生き物を教育の題材の一つとして取り上げ、生態を学ぶことは、思いやりや配慮の気持ちを育む機会になるのではないかと思います。
- ・(3)社会性をはぐくむ教育の推進については、島外学習、中学生の海外ホームステイ事業など、これまで続けてきた社会性を育むための様々な取り組みを、着実に遂行されているほか、近年続けてきた檜原村の子どもたちとの交流を、よりしっかりとしたものにするために、友好村として盟約を結ばれたことは、素晴らしいことだと思います。また昨年度に続いて、利尻島の子どもたちとも交流し、今年度は利島から利尻島に出かけて、交流を深めることができたことも、子どもたちにとっては、またとない体験だったと思います。山の恵みを持つ檜原村と海の恵みを持つ利尻島の子どもたちと交流することは、利島村の子どもたちが、多様な文化や生活の様式を深く学ぶことにつながり、社会性を育むうえで意義ある事業であると思えます。手間と時間がかかる取り組みではありますが、子どもたちのために来年度も引き続きお願いいたします。

4. 学校教育

全ての項目で高いA評価となり、利島小中学校の教育内容が充実しており、またレベルも高いことがわかるものとなりました。

- ・(1)人権尊重教育の推進については、日常生活における他人との関わり方、特に挨拶の重要性について取り組まれた活動が目にとまりました。学校だよりの中で、小学校の生活指導主任の先生が、「あいさつには人間関係を円滑にする力がある」と書かれていて、また、挨拶ができるようになるためには、「最初は会釈から始めて、段々と目を合わせたり、声を出せるようにしていく」方法があることをアドバイスされており、子どもたちにとって、わかりやすく取り組みやすいと思えました。またあいさつ目標も、学期ごとに目標を立て、一段一段、着実に挨拶ができるように取り組ませていることも、よいと思えました。

- ・(2)個に応じた学習指導については、95 点と非常に高い評価となり、小中学校の全先生方の研究や研修を重ねられていることが伺えました。施設一体型の小中併設校であることを十分に生かした「9 年間の系統性」を重視しながら、各教科間の「横断的な関連を図ること」は難しいことですが、教員間でコミュニケーションを行いながら、綿密な打ち合わせを行って、TT 指導體制も活用しながら、子どもたち一人一人にきめの細かい指導を行い、基礎学力の効率的な向上と、主体的な考える力を育成していることが伺えます。これは、東京都の学力調査において、子どもたちが高いレベルの学力評価となっていることから頷けるものだと思います。
- ・(4)健康の保持・体力の増進を図る教育活動については、体育授業や体育的行事を通して、体力向上に取り組んだ結果、東京都統一体力テストにおいて、昨年度より数値が大幅に上がったとのことでした。学校だけで報告されている、5 月開催の四島体育大会の取り組みの報告を見ますと、全く未経験の種目にも、副校長先生はじめ全教員が指導を行い、練習に取り組んだとあります。結果は思うような成績ではなかったものもあったとのことですが、練習に粘り強く、手を抜くことなく取り組んだプロセスを重視し、一生懸命取り組むことに価値があることを示すことができた体験は貴重であり、今後の学校生活の中で生かされ、結果、冒頭のような大きな体力の成績向上につながったのではないかと思います。また、食育の面では、毎日の学校給食の時間の指導や、青空給食、テーブルマナー学習会、そら豆などのサヤむきなどの活動を通して、食事の大切さを子どもたちを楽しませながら学ばせていることが伺え、よい活動であると思いました。引き続きご指導を、お願いいたします。
- ・(9)家庭・地域に開かれた学校については、毎年地域の方々のご協力とご参加により、にぎやかに開催されている利島村大運動会や、地域の方々のご配慮や声援を受けながら島内を走破するロードレース大会は、子どもたちの大きな達成感と自信につながる、大変よい活動だと思います。特に東京オリンピック・パラリンピックに関連して全校の子どもたちが3年計画で進めている、1964 年聖火リレーコース走破の取り組みは、地道な周回練習を楽しんで行う機会にもなり、またリレーコースの日本地図にマークすることで、子どもたちが日本地図を見て様々な地方の生活を想像する機会にもなり、爽りの多い活動であると思います。来年度の「東京」までの完走に向けて、引き続き取り組みをお願いします。
- ・(10)学校組織を生かした学校経営については、管理職間の報・連・相が十分行われ、副校長の経営パートナーとしての役割・責任への自覚が高まり、校務の処理・対応が円滑に行えたとあります。また、必要に応じて、分掌間の配置転換も行われ、業務の変更には戸惑いがある場合は、速やかに指導や助言が行われたとあります。結果として、教員の自信と意欲が維持・向上し、組織貢献力が育成できた事は、大きな成果だと思います。引き続き、円滑な運営が行われることを望みます。
- ・(13)外国語指導、英語指導の取り組みとその成果については、ALT を有効に活用した、様々な英語学習が行われていることが伺えました。小学生たちは、英語の授業の中で、英語のフレーズを歌いながらダンスをして学んだり、ALT の先生と交流しながら一緒に給食を食べたり、学年関係なく全校で、英語のゲーム大会をするなどして、楽しみながら英語に触れる体験をしていました。中学では、毎時間 ALT による指導が行われ、ネイティブ英語の聞き取りの他、英会話、英作文等の学習を通して、計画的・重点的に英語教育が行われていました。このように、小中学校が、様々な方法で子どもたちに英語になじませる活動をする事は、中学生のオーストラリア留学の機会にもスムーズにつながり、結果として「広く世界に目を向けた国際性豊かな子どもの育成」という教育目標に十分かなう教育活動になっていると思いました。

5. 社会教育

- ・(1)芸術文化事業の実施については、東京都交響楽団の弦楽四重奏の演奏会が開かれ、小さな幼児から年配者まで、100名近くの来場者があり、アニメや童謡から、クラシックや演歌まで、様々な年齢の方々がみんなで楽しめる演目が披露されたとのことでした。前日のワークショップでも、子どもたちがバイオリンに触れる体験をして、音楽に親しんだとのことで、大変良いことだと思いました。引き続き、取り組みをお願いします。
- ・(3)文化財保護の充実については、利島村伝統文化芸能事業の一環として、利島村伝統文化芸能実行委員会が主催する「ふるさと利島に思いを寄せる日」が、3月に開催されるとのことです。餅つきを行ったり、これまで継承されてきた祝い唄や木やり節を、子どもたちや大人が歌って地域に披露したり、利島に伝わる民謡をみんなで歌いながら踊ったりと、にぎやかに執り行われるようです。また、利島の伝統食の寒汁も振る舞われるとのことで、子どもたちをはじめ島民の方々の、この行事にかける大きな期待が感じられます。この新しい取り組みのために、教育委員会や小中学校の先生方、そして地域が力を出し合い、準備を進められていることがわかり、取り組みの大きな成功が期待されます。

6. 放課後児童クラブ(学童)について

- ・(1)放課後児童クラブの運営については、月に1回のペースで、学童だよりが発行され、子どもたちの学童クラブでの様子や行事が保護者の方々に報告されており、大変よいことだと思いました。学童クラブでは、勉強の時間と、遊びの時間にメリハリが付けられるように、子どもたちに勉強道具を渡して、自学自習をして学べる態勢を整えられているとのことで、大変よいことだと思えます。

7. その他

- ・(1)施設・設備については、昨年度に整備されたテニスコートが、子どもたちを含め地域の方々の余暇活動のひとつとして、一般に開放されているとのことです。コートの整備など、手間はかかる場所ではありますが、島民の皆様の協力をいただきながら、これからも活用されることを望みます。また、郷土資料館や遺跡の整備については、これまでも教育委員会や学校、地域の皆様の協力のもとで進められており、また東京都の「2018文化財ウィーク」に参加され、利島の貴重な遺跡や文化財を発信されています。来年度の東京オリンピック・パラリンピック開催により、内外の観光客が更に増加が見込まれますので、一層の充実した整備をお願いします。

平成30年度

利島村教育委員会 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価
「点検・評価に関する」意見

東京都多摩市青少年問題協議会落合地区委員会 会長
東京都多摩市立落合中学校 教育連携コーディネーター
主任児童委員
東京都多摩市立東落合小学校 放課後子ども教室リーダー
榎 つきみ

教育委員会の自己評価は、全34項目中、達成率75%以上のA評価が26項目、50%以上のB評価が8項目、C評価及びD評価はなしという結果でした。このことから、全体としては適正な管理・執行が行われていると判断して良いと思われま

す。以下、示された主な項目の「点検・評価」に関して、簡単にコメントを加えます。

1 教育委員会の活動

「(3) 教育委員会と村長との連携」では、利島村伝統文化芸能行事に関して意見交換を頻繁に行い、「伝統文化芸能実行委員会」を立ち上げ、「ふるさと利島に思いを寄せる日」開催予定となったこと、大変に素晴らしいと思いました。

2、教育委員会が管理・執行する事務

「(5) 離島高校生就学支援事業の事務に関すること」で、支給期間が3年間でなく在学期間中となったこと、大変に喜ばしい事です。生徒の経済的な「応援団」であることが、保護者にとってどれほど心強いかと推察しました。

4、学校教育

「(4) 健康の保持・体力の増進を図る教育活動」では、体育授業や体育的行事を通して体力向上に取り組んだ結果、体力テストの数値が昨年度より大きく上がったとありました。島あげての大運動会に加え、水泳指導や「頑張れ利島っ子！東京オリンピック・パラリンピック聖火リレー完走プロジェクト」など、楽しく頑張れる日々の取り組みの成果だと感じました。

「(8) 故郷教育の推進」は、3ヵ年計画で始められたのですね。今年は「利島の昔」をテーマとされたとのこと。故郷の歴史は、過去の人々がつないできた思いを学ぶことであり、地域の方々と交流しながら自尊意識、他尊意識ともに育む大きな学びであると考えます。来年再来年、そして次の3ヵ年と期待します。

「(13) 外国語指導、英語指導の取り組みとその成果」。先生方のご努力に敬意を表します。中高さらに大学と英語を学んできた私たちの年代は、読解はできても会話が

ほとんどできません。英単語の正しい発音や日常英会話などの学びが足りなかつただけでなく、「思いを言葉にして伝える」ことが日本人は苦手—阿吽の呼吸が良しとされますし—なのではないか、また「間違えてはいけない」と考える完璧さ故ではないかと思っています。間違えても思いを伝えようとする、その勇気を褒め称えてやってください。

5、社会教育

「(1) 芸術文化事業の実施」では、数々の催しに歓声をあげ、あるいは耳をそばだて目を輝かせる様子が伝わってきます。「ふるさと利島に思いを寄せる日」の大成功を祈っています。

「(4) 地域教育力の活性化」。校外学習支援や放課後学習教室の地域の応援は、大変素晴らしいことです。短期間で成果が見える取り組みではないと思いますが、地域の方々との交流は、生きる力を育てるためにも大変重要です。ボランティアでは限界がある場合も多く、必要なら補助金を投入し続けていくべき取り組みです。

資料を読ませていただいて、今でも歌われている利島の歌の多さに驚いています。私の故郷では、歌い継がれてきたのは盆踊りの歌だけ。本当に驚きました！ ♪～やっくるくるやっくるくる♪は、どんなメロディなのかと気になって仕方ありません。

以上